

令和三年度鶴見大学仏教文化研究所公開シンポジウム・開会の辞

著者	橋本 弘道
雑誌名	鶴見大学仏教文化研究所紀要
号	27
ページ	3-4
発行年	2022-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1646/00001040/



開会の辞

橋本 弘道

本日は、鶴見大学仏教文化研究所公開シンポジウムにご参加頂きまして、ありがとうございます。当研究所長をしております、橋本弘道と申します。本日は、マインドフルネス研究最前線という題名で公開シンポジウムを進めさせていただきますだけだと思います。後半のディスカッションの司会をお務め頂きます、蓑輪先生をはじめ、ご講演いただきます先生方に御礼申し上げます。本研究所では、毎年本日より六月の第二週の土曜日に公開シンポジウムを行っております。通常ですと、鶴見大学がごさいますJRR京浜東北線の鶴見駅西口から徒歩五分の鶴見大学会館にて公開シンポジウムを行っておりますのですが、本日は新型コロナウイルスの感染予防のため、初めての試みとしてZoom Webinarを使つてのネット配信による公開シンポジウムとさせて頂きました。事前申し込みの上でご視聴頂くという形をとりましたが、約三百名の事前申し込みを頂きました。ありがとうございます。初めてのことで、いろいろな行き届かないところも出てくるかと思いますが、実りある公開シンポジウムにできればと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。また、毎年この時期に公開シンポジウムを行っておりますので、今後もご参加いただければと存じます。よろしくお願いいたします。以上をもちまして簡単ではありますが、開会の挨拶とさせて頂きます。

(はしもと ひろみち・鶴見大学仏教文化研究所所長)